

別紙 「平成30年度 学力向上アクションプラン」

足立区立東綾瀬中学校 校長 山崎 要

	新 継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように>	達成確認方法	達成目標（＝数値） <いつまで・何を・どの程度>
1	継続 ・ 改善	放課後補充教室	全学年 <4月～7月> 3教科で実施。 区学力テストにお いて正答率30% 未満のもの <9月～3月> 全学年、3教科で 実施。課題テスト 1において ①正答率30%未 満のもの ②正答率60%前 後のもの	毎週水曜以外 の放課後25分	<4月～7月> 【指導体制】教科担当+学年教員 【取り組み内容、ねらい・目的】 区学力テスト問題の復習問題を行う。 <9月～3月> 【指導体制】教科担当+学年教員 【取り組み内容、ねらい・目的】1週間1教 科の課題（宿題）を出す。次週、課題テス ト1を行う。①②の対象者を決め補充教室 を行う。次週、課題テスト2を行う。3教 科でローテーションを行う。 ①基本的な問題につまずきの見られる生徒 を対象に苦手分野を集中的に補充する。苦 手な単元や分野の克服を計るのがねらいで ある。 ②基礎的な内容に合わせて発展的な内容も 確認する。 【使用教材】プリント教材（次へのステッ プ等）	<4月～7月> 確認テスト <9月～3月> 課題テスト2	放課後補充教室後の 確認テスト・課題テス トにおいて①②の生 徒の正答率を10%以 上、上昇させる。
2	継続 ・ 改善	サマースクール	1年—数学 対象：放課後補充 教室対象者、数学 合宿に行けなか ったもの 2年—数学・英語 対象：基礎的な内 容の補充が必要 なもの。 3年5教科 対象：基礎的な内	夏休み期間中 の7日	【指導体制】教科担任+学年サポートメン バー 【取り組み内容、ねらい・目的】 当該年度の夏休み前までの内容でつま ずきを解消する。学年の教員で補助を行 い、一人一人に対して細かい部分まで見 られるようにする。 【使用教材】プリント教材（次へのステッ プ等）	確認テスト（事前、 事後テスト）	放課後補充教室後の 確認テストにおいて 補充教室該当者の正 答率を10%以上、上 昇させる。

			容の補充が必要な もの。				
3	継続	家庭学習ノート	3年生	授業がある日 は毎日提出	<p>【取り組み内容、ねらい・目的】</p> <p>大学ノートに1日1ページどの教科でも構わないので、家庭学習を行い、翌日に提出させる。提出されたものは担任が確認し、学習委員が点検票にチェックを行う。自学自習の習慣化を図ると共に、自らに足りない内容を考え、学習する力を養う。学期末には毎日継続的に提出できた生徒の表彰を行い、学習意欲を喚起する。</p>	家庭学習点検表	年間を通して毎日提出する生徒の割合を70%以上にする
4	継続	家庭学習課題	1・2年生	授業がある日 は毎日	<p>【指導体制】教科担当+学年教員</p> <p>【取り組み内容、ねらい・目的】</p> <p>○家庭学習の習慣づけと確実な定着を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習用課題プリント(数・英を隔週) ・翌週課題確認テスト実施 ・課題確認テスト30%未満の生徒対象に補習 ・翌週定着確認テストの実施 	課題確認テスト 定着確認テスト	定着確認テスト合格者80%以上
5	継続	授業力向上	全教員	前後期1回	<ul style="list-style-type: none"> ・足立スタンダードに基づいた授業の実施(指導案検討) ・小中連携事業での深化 ・相互授業観察の実施 ・教科指導専門員による指導と成果検証授業 	授業観察	<ul style="list-style-type: none"> ○足立スタンダード「導入・まとめ」の全員実施 ○「学び合い学習」单元内での実施